

# 東成瀬 図書館だより

〒019-0801

秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1

TEL 0182-38-8711 FAX 0182-38-8712

E-mail narusejidooukan@carol.ocn.ne.jp

2023.4月号 No.93

発行

東成瀬公民館図書室

## ☆令和 5 年 5 月の特集&新着案内 〈一般書〉

### ◎ 「 おでかけ日和・たび日和 」

そして旅にいる 加藤 千恵  
京都不案内 森 まゆみ  
丘の上の賢人 原田 マハ  
溪流ルアー釣り つり人編集部  
東京ディズニーランド&シー超お得攻略ブック  
るるぶ東北'24 JTB パブリッシング  
じゃらん東北 道の駅爆売れ!グルメ  
魔女と過ごした七日間 東野 圭吾  
1日1アイデア 高橋 晋平  
悪玉コレステロールを自力で下げる本  
「発達障害」と間違われる子どもたち 成田 奈緒子

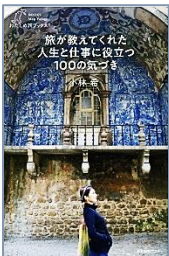
## 〈児童書〉

### ◎ 「 のりものでゴー! 」

せんろをまもる!ドクターイエロー 鎌田 歩  
めくって発見!こうじげんばのくるま 松島 浩一郎  
じぶんでよめる のりものずかん 成美堂出版編集部  
しょうぼうしゃ、てんけんよし! 片平 直樹  
うちのくるまはバン! 鎌田 歩  
特急おべんとう号 岡田 よしたか  
ぼくのがっこう 鈴木 のりたけ  
こんとごん 織田 道代  
チョコちゃんに叱られる ちきゅうおんだんかってなに? 海老 克哉

## ◇今月のオススメの一冊◇

### 『旅が教えてくれた人生と仕事に役立つ 100の気づき』 小林 希 / 著



旅に出たら、少し自信が持てた。自分を好きになれた…  
旅作家として活躍する著者が旅の中で見つけた「自分らしく生きるためのヒント」をまとめた旅エッセイ集。

### 『はみがきれっしゃ しゅっぱつしんこう!』 くぼ まちこ / 作



歯みがきが嫌いな“たっくん”でも、『はみがきれっしゃ』がやってくれば、どんな子のお口も「あーん」と開く。しゅっしゅっしゅっしゅっ、お口の中へ、しゅっぱつしんこう～!はみがきれっしゃの活躍で、たっくんの歯はキレイになるのかな?

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

## ☆図書室利用案内☆

### 5月の休館日

3～5日(祝) 7日(日)

21日(日)

開館時間

休館日

図書の貸出

視聴覚資料

貸出期間

午前9時30分～午後5時30分

・第1、3、5日曜日 ・祝祭日

・年末年始

10冊まで

3点まで(DVD・CDなど)

3週間

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★



# おしらせ

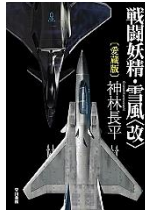
—第2回—

## わたしのとっておきの一冊

地域おこし協力隊・なるテック

與那原せりな さん からの オススメ

### 『戦闘妖精・雪風』



神林 長平 / 著  
早川書房

1985年の星雲賞（優秀なSF作品に贈られる賞）を受賞した本作は、おおよそ10年周期で続編が刊行され、2022年4月に最新刊「アグレッサーズ戦闘妖精・雪風」が発行されました。

雪風シリーズの第一作目であるこちらは、南極にある日突如として別の宇宙区間と繋がる通路が開き、異星生命体「ジャム」が強襲してきて、人類を恐怖に陥れるところから始まります。AI知能搭載の戦闘機「雪風」のパイロット・深井雫と雪風との間に横たわる隔絶も、戦闘中のひりつく会話もすべてが目まぐるしく展開していきます、やがて人とは、機械とは…という根源的な問いかけへと読者を誘います。「ジャム」とはいったい何なのか？知りたいと思ったなら、この本を開いてみましょう。

日常から非日常へと繋がる想像の海原は、彼方まで広がっています。

🍀 地域おこし協力隊の皆さんからのオススメを連載しています。  
お楽しみに！



2023年 大賞決定 !!

## 本屋大賞

- 大賞 『汝、星のごとく』 凧良 ゆう  
第2位 『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇 美緒  
第3位 『光のところにいてね』 一穂 ミチ  
第4位 『爆弾』 呉 勝浩  
第5位 『月の立つ林で』 青山 美智子  
第6位 『君のクイズ』 小川 哲  
第7位 『方舟』 夕木 春央  
第8位 『宙ごはん』 町田 その子  
第9位 『川のほとりに立つ者は』 寺地 はる  
第10位 『#真相をお話します』 結城 真一郎

※ 4/24より貸出可能です。

電話予約もできますので、お問い合わせください。

### 読みかたリグループ



## 『つくしんぼ』コーナー

おはなし会は

5月6日(土)

10:30~11:00  
です

会員 谷藤 すみ子 さん

### 会員のつばやき

1,000万年前の昔から奄美大島と徳之島に住んでいる、アマミノクロウサギのお話です。生態があまり知られていない動物でしたが、奄美大島出身の浜田太カメラマンが、初めてビデオ撮影した記録をもとに、いもとようこ先生が絵本にしたと後書きにありました。

アマミノクロウサギは子育て用の巣穴で出産し、2日に1回、授乳のために巣穴を訪れます。授乳が終わると、甘えて一緒に外に出ようとする子ウサギを穴に残し、外敵から子を守るため、入口をドロで丹念にふさいで、母ウサギは森に戻るといってお話です。

子ウサギが親と一緒に森をかけめぐることができる日まで、毎回丁寧に入口をドロで固めていく母ウサギの行動は、厳しい自然の中で子育てする動物の強さと優しさ、子ウサギの母を慕う情愛などが感じられる、いいお話でした。

